

マスタースローッカー ショートタイプ

取り扱い説明書

型番：SOVDCKST

1812.h.v1



製品仕様

サイズ	幅90×高さ300×奥行160(mm)
重さ	1130g
付属品	本体、ハンディ真空パック器、クリップ、日本語説明書
電源	ACより給電
入力	AC100V 50Hz/60Hz
出力	850W
設定温度	25～99.9度
設定時間	1分～99時間59分
パッケージサイズ	幅213×高さ400×奥行120(mm)
パッケージ重量	1723g

弊社サポートについて

動作しない、お買い上げ時から問題が発生しているなどの場合は、ご連絡不要にて対応させて頂きます。症状を記載したメモ、購入日が確認できる納品書やレシート、商品一式を弊社サポートセンターまでご送付下さい。(お届け日より1週間以内の場合は、初期不良として送料着払いにてご送付下さい。)

取り扱い説明書記載内容と実際の操作方法に違いがある場合、新しい新しいマニュアルを公開している場合がございます。ダウンロードページをご確認下さい。

<http://www.thanko.jp/support/download.html>

ご質問などが多い内容については、Q&A ページに解決方法が記載されている場合がございます。合わせてご確認下さい。

<http://www.thanko.jp/support/qa.html>

■メールでのお問い合わせ

お客様の御名前、商品名、お問い合わせ内容を記載し、次のアドレスまでご連絡下さい。

support@thanko.jp

サンコーカスタマサポート(修理品の送付先)

〒101-0021

東京都千代田区外神田4-9-8 神田石川ビル 4F

TEL : 03-3526-4328 FAX : 03-3526-4329

(月～金 10:00-12:00、13:00-18:00 土日祝日を除く)

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害や財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方で生じる内容を次のように区分して、説明しています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡又は重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みうえ、必ずお守りください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、誤った取扱をすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。

警告

- ◎ ヒーターカバー部分以外を水につけたり、水をかけたりしない
- ※ ショート・感電のおそれがあります。丸洗いしないでください。
- ◎ 低温調理以外には使用しないでください。
- ※ 故障や火災の原因となります。
- ◎ 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。
- ※ やけど、感電、けがをする恐れがあります。
- ◎ 絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ※ 発火、感電、ケガの原因となります。
- ◎ 電源コードはぬれた手で抜き差ししないでください。
- ※ 感電の原因となります。
- ◎ 電源コードや差込口が傷んだり、ゆるい時は使わないでください。
- ※ 感電、ショート・発火の原因となります。
- ◎ 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
- ※ 感電、発火、故障の原因となります。
- ◎ 定期的に電源プラグのほこりをふき取ってください。
- ※ 感電、発火、故障の原因となります。
- ◎ タコ足配線はしないでください。
- ※ 火災の恐れがあります。
- ◎ コンセント部分にピンやゴミを付着させないでください。
- ※ 感電やショートして発火の原因となります。
- ◎ 交流100Vのコンセントを単独で利用してください。
- ※ 火災、感電や故障の原因となります。
- ◎ 落としたり、衝撃をくわえたりしない。
- ※ 感電や故障の原因となります。
- ◎ 風呂場など水気の多い場所で使用しない。
- ※ 感電やショートの恐れがあります。
- ◎ ガスやコンロ、その他熱を発生する装置から離して使用する。
- ※ 火災や発火の恐れがあります。
- ◎ 電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねて利用しないでください。また重いものを載せて使用しないでください。
- ※ 電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- ◎ 缶詰や瓶詰などを鍋に入れて過熱しないでください。
- ※ 缶や瓶が破裂・過熱しやけどやけがの原因となります。
- ◎ から焼きしないでください。
- ※ 火災・故障の原因となります。
- ◎ 使用時以外は電源コードをコンセントから抜いてください。
- ※ けがややけど、劣化による感電・漏電火災の原因となります。

⚠ 注意

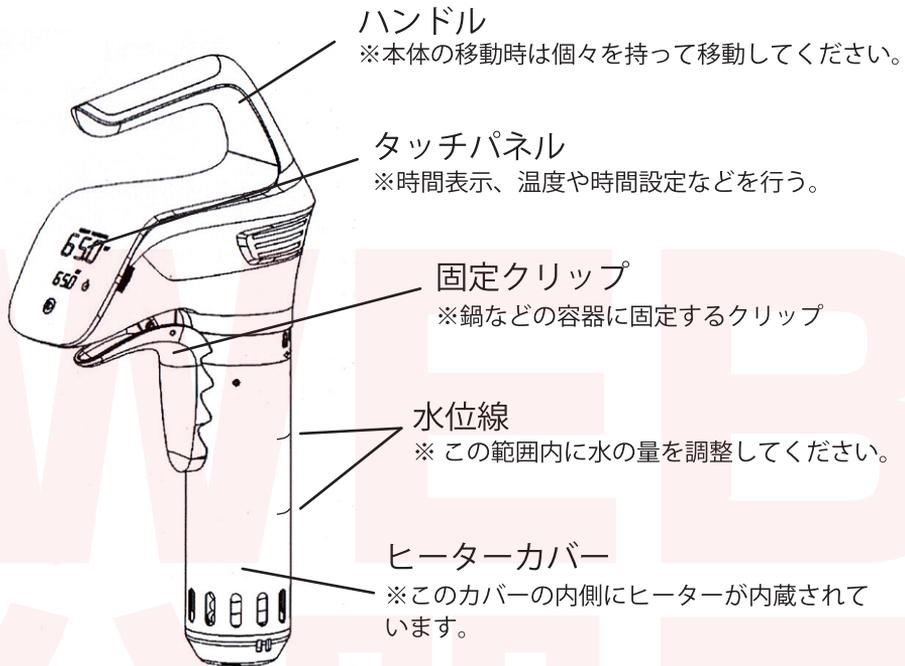
- ◎ 使用中や使用直後には高温部（内なべやその周辺部）に触れないでください。
※ 高温ですので、やけどの原因となります。
- ◎ 最大水量以上、最小水量以下で使用しないでください。
※故障の原因となります。
- ◎ 使用後は十分熱を冷ましてから保管してください。
※やけどやけが、故障の原因となります。
- ◎ 使用中は水（湯）の中に手を入れないでください。
※やけどの原因となります。
- ◎ 水以外の液体を使用しないでください。
※故障の原因となります。
- ◎ 熱に弱い容器や不安定な場所で利用しないでください。
※ 火災や過熱事故の原因となります。
- ◎ 電源コードに足をかけないようにご注意ください。
※ 製品が落下してけがや故障の原因となります。
- ◎ 電源コードを抜く時はコード部分を引っ張らないでください。必ず先端のプラグ部分をもって引き抜いてください。
※ 感電やショートして発火の原因となります。
- ◎ 次のような場所で使用や保管をしないでください。
・高温多湿の場所、水のかかる場所、ほこりの多い場所
う、火器の近くなど。
※故障の原因となります。

同梱品

- ① 本体
- ② 真空ポンプ
- ③ 食材袋用クリップ（適宜ご利用ください）



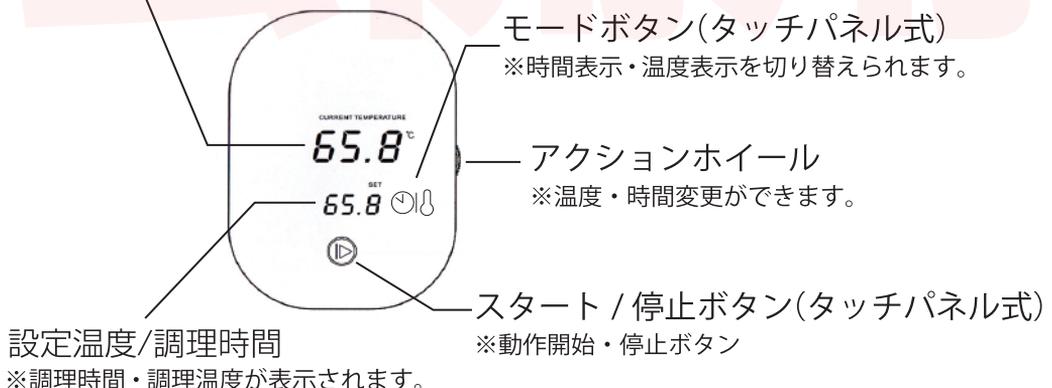
同梱品と各部の名称（本体）



各部の機能と名称（タッチパネル）

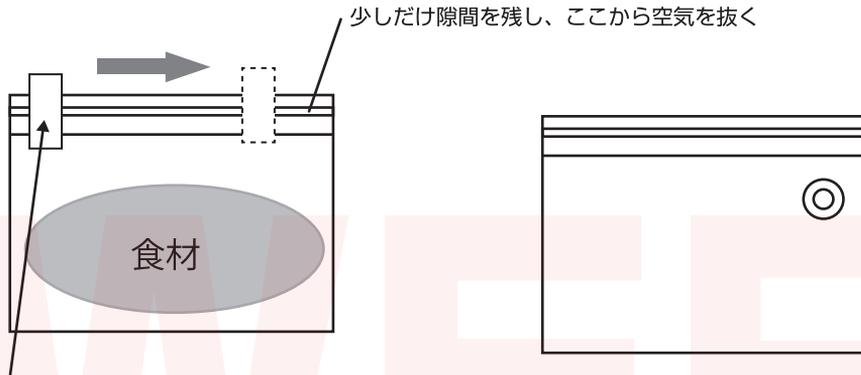
現在の温度

※現在の温度が表示されます。



ご利用前に（食材の準備）

調理する素材を真空パックに入れ付属の真空ポンプを利用して空気を抜いてください。
なお、手洗いなどを徹底するなどして、作業前に雑菌が入らないようにご注意ください。

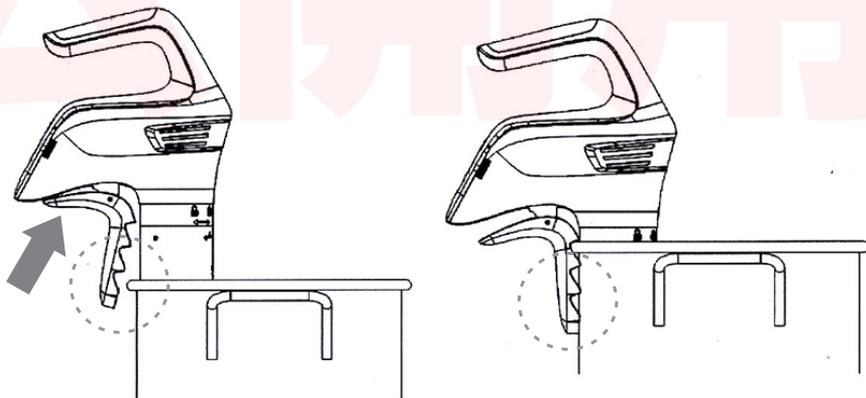


※付属のクリップを利用することでチャック付き袋の口部分をより密着して閉じることができます。適宜ご利用ください。

上記のような真空パック器が使える袋（別売）を用意していただくと、楽に真空状態にする事ができます。
使用する真空パックは、必ず耐熱の物を使い、使用前に穴が開いていないかどうか確認して下さい。

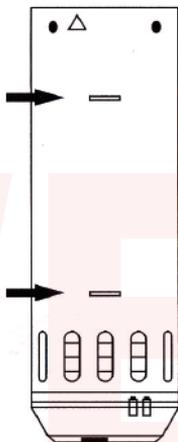
使い方

1. 下図のようにクランプを開き、鍋を挟み込んで固定します。

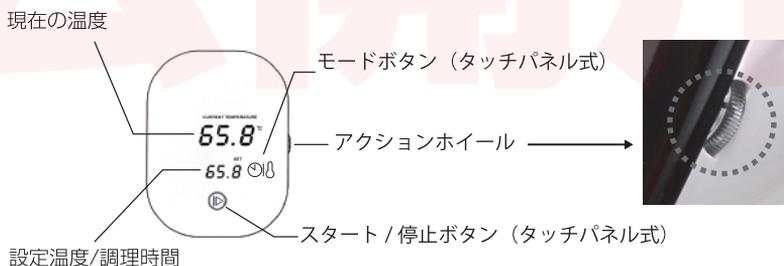


使い方

2. 水の量は上の水位線と下の水位線の間収まるようにしてください。少なすぎる、もしくは多すぎる場合は動作しません。



3. コンセントに電源ケーブルを差し込むと、タッチパネルが点灯し🕒🌡️と▶️🔊が赤く点滅します。
🕒🌡️を押すごとに「時間設定モード」「温度設定モード」に切り替わります。
モードが切り替わるとタッチパネルの数字表示に「時間」や「温度」が表示されます。



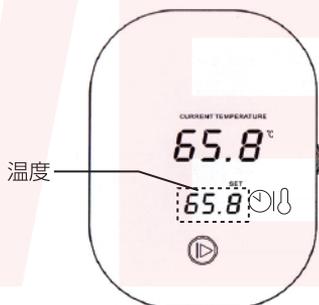
使い方

4. 調理温度の設定方法

タッチパネルの表示が温度表示(温度設定モード)に切り替わっていることを確認してください。時間が表示されている場合には   を押して切り替えてください。

温度設定モードに変更後アクションホイールを回すと設定温度の変更ができます。調理に合わせて温度を設定してください。(25度～最大99.9度)

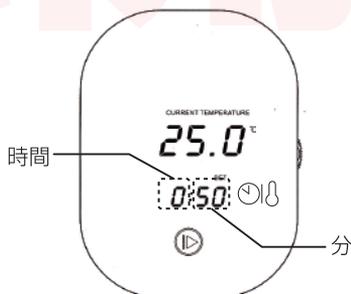
温度設定が終わったら   を押して「時間設定モード」に切り替えてください。



5. 調理時間の設定方法

タッチパネルの表示が時間表示(時間設定モード)に切り替わっていることを確認してください。温度が表示されている場合には   を押して切り替えてください。

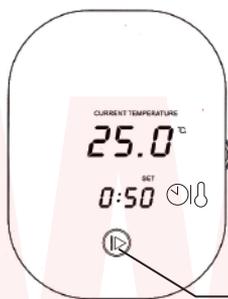
時間設定モードに変更後アクションホイールを回すと設定時間の変更ができます。調理に合わせて調理時間を設定してください。(1分～最大99時間59分)



使い方

6. 調理の開始

調理時間、調理温度の設定が終わったら  をタッチして調理を開始してください。再度  をタッチすると動作をストップできます。再度  をタッチすると調理を再開します。

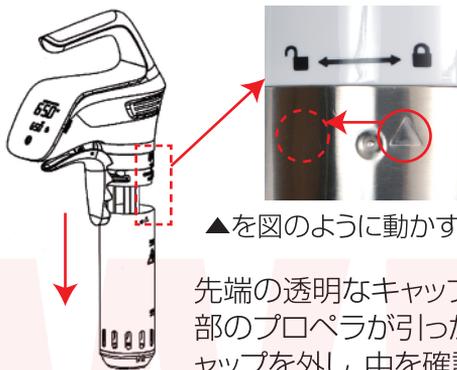


スタート / 停止ボタン（タッチパネル式）

※ 鍋に水が入っている状態でないと調理開始出来ません。（タッチボタンが反応しません）

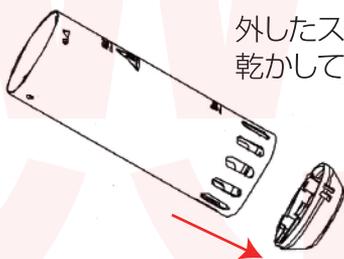
お手入れ

使用後は以下のようにして清掃して下さい。**必ずコンセントを抜いてから行って下さい。**

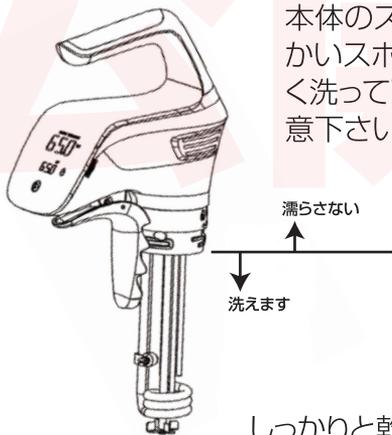


▲を図のように動かすとステンレス部が外せるようになります。

先端の透明なキャップを外します。ステンレス部を外す時に内部のプロペラが引っかかる場合があります。その場合は先にキャップを外し、中を確認しながらステンレス部を外してください。



外したステンレス部とキャップは、洗剤などで洗ってよく乾かしてください。



本体のステンレスカバーに隠れていた箇所は、柔らかいスポンジなどを使用し、食器用洗剤などで優しく洗って下さい。本体上部は濡らさないようにご注意下さい。

濡らさない

洗えます

しっかりと乾かした後、各パーツを元通りにして下さい。

その他ご注意

- ※低温調理法は食中毒を起こす菌が繁殖する可能性があります。温度管理をしっかり行って下さい。
- ※使用中はステンレス部、鍋が熱くなりますので触れないようにご注意下さい。
- ※真空パック袋、鍋など記載されている物以外は付属しません。
- ※常に本体は清潔に使用、保存して下さい。
- ※水以外は使用しないでください。
- ※深さが10cm以下のナベで使用しないでください。
- ※クランプで指などを挟まないようにご注意ください。
- ※落としたり強い衝撃を与えないでください。
- ※分解しないでください。
- ※本製品をご利用において生じる物品の破損は、補償の対象外となります。
- ※小さなお子様の手が届くところで保管、使用しないでください。